

Elysion シフトインジケータ インストールマニュアル

RR-3, 4 用 (V6 3.0)

「シフトインジケータ」をご用命頂きまして、ありがとうございます。
シロートの拙い工作物ですが、その辺りは笑って許してくださいませ。
楽しいカーDIYの一つとして、お楽しみ頂けると幸いです。

2004/6 M相良

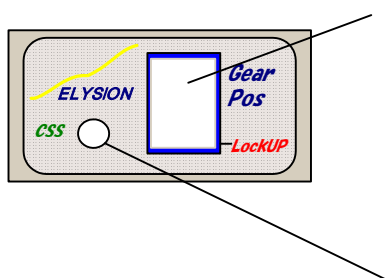
取り付け時の注意

1. 電装系のDIYは誤配線があると、最悪出火等の可能性が有ります。
説明を良く読んで、トラブルの無いようにお気をつけ下さい。
 2. エアバックが標準装備されている為
センサーが活着ている間に、不要なショックを与えると、エアバックが作動したり
非常に危険を伴います。

※必ず BATTのマイナス端子を外し。3分以上待ってから作業して下さい。
 3. ご自分での取り付けに自信がない場合、有る程度のスキルをお持ちの方と
一緒の作業をお勧めします。
 4. 個人的にお分けする物です。製品保証等、一般の製品に有する保証関係は、
いっさいありません。その分、お安いと言うことでご理解下さい。

※誤接続以外の問題で、本体の初期動作不良が認められた場合のみ
交換をいたしますので、ご連絡下さい。
 5. ディーラー、カー用品店等への取り付け依頼は、おそらく断られると思います。(爆)
- ◎上記を怠ったため、発生した 問題・事故 等につきましては、作業される方の
責任の範囲内とさせていただきます。
その点の保証等はいっさいいたしかねます。ご了承下さい。

「 シフトポジション表示部 」



数字で 1-5が表示されます
ATが P、N、R 以外の時表示されます
また、表示の右下の ・ はロックアップ中
の表示です。

「 気筒休止インジケータ部 」

緑のLEDが点灯時は気筒休止中です。
車両のECOランプは気筒休止中を示す物ではありません。
気筒休止中は 1. 5Lで走行することになり、燃料消費も
押さえられます。

内容の確認

1. ユニット本体。
黒(または白)のプラケースに基板が収納されています。
赤・黒・白・緑・黄・青・橙・茶 の8本の線が出ています。
中間に中継コネクタが付いています。
赤のコードにヒューズが付いています。 1Aです。
2. インジケータ部
黒のプラケースに、LEDが組み込まれています。
※ 1-2は シールド線で接続されています。
3. ワンタッチカプラ 6個

別途必要な物

1. 電源取り出しケーブル 1本
電源取り出しを、ヒューズBOXから行う場合
電源取り出しKITが必要です。
※用品店等で、ヒューズBOX電源取り出しケーブルを購入します。
(10A用)
ヒューズBOX内 No.19(IGN)から取り出します。
※他にIGN+12Vを取り出す箇所をお持ちの場合、そちらに
準じた物を使用して下さい。

必要な工具

1. プラスドライバ
・フロントロアパネルを外すために使用
2. プライヤー
ワンタッチコネクタの取り付けに使用
3. 10mmソケットレンチ等
アースを取り付けるために使用

取り付け手順

1. インジケータ部の取り付け

- (1) センターロアカバーを一部外し
インジケータのコードをカバー内に通します。
- (2) インジケータを好みの位置に張り付けます。
- (3) ロアカバーを元に戻します

2. ECUとメインユニットの接続

- (1) センターコンソール下部パネル(左右)を外します
- (2) メインユニットの信号線(6本)を ECUのカプラにワンタッチコネクタを使用して、接続します。

3. 電源の取得

- (1) IGN+12Vを接続します
- (2) ボディーアースを接続します

1. インジケータ表示部の取り付け



インパネのロアパネルカバーを外します。

※ めくら蓋を開け、ビスを1本外す



パネルのサイドを引っ張り、浮かせます。



ハンドル下の隙間にコントローラを押し込み、
表示部のコードのみハンドル下を通します。



表示部のコードをハンドル横に通します。



表示部は、好みの位置に両面テープ等で貼り付けて下さい。



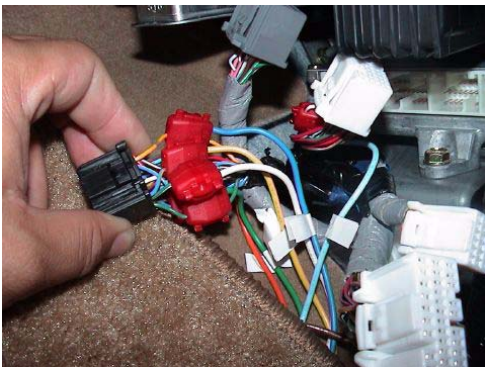
センターコンソール下部右カバーを外します。



センターコンソール下部 左パネルを外し、ECUを確認します。



手前側(ナビ本体側)のコネクタから順に、全てのコネクタを引き抜きます。
※コネクタ上部のツメを押し込みながら引き抜きますが、かなり硬いため、少しずつひねりつつ引き抜いて下さい。

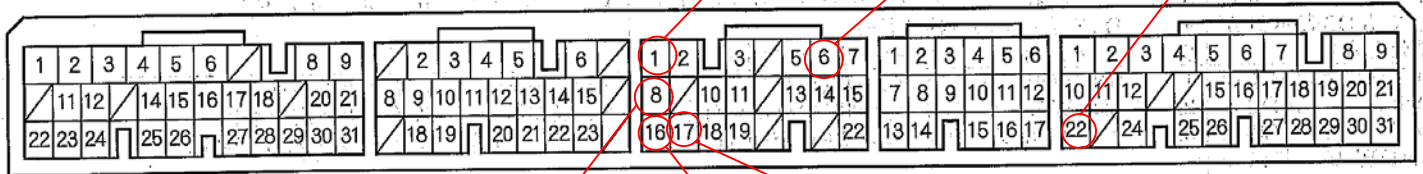


指定コネクタの配線に、指定線色の線を割り込ませます。

※次ページの接続図を参照

コネクタのコード側から見た図 (黄 → 青/黄) (青 → 黄)

(茶 → 緑/黄)



A(31P)

B(24P)

C(22P)

D(17P)

E(31P)

(白 → 緑/白)

(緑 → 緑)

(橙 → 青/黒)

前側

(1) Cカプラに接続

- ・ユニットの黄 を C-1 (ハーネス色 青/黄)
- ・ユニットの青 を C-6 (ハーネス色 黄)
- ・ユニットの白 を C-8 (ハーネス色 緑/白)
- ・ユニットの緑 を C-16 (ハーネス色 緑)
- ・ユニットの橙 を C-17 (ハーネス色 青/黒)

(2) Eカプラに接続

- ・ユニットの茶 を E-22 (ハーネス色 緑/黄)

ユニットの配線を、ECUのカプラのハーネスに接続します。

このとき、ワンタッチカプラを使用します。

ハーネスは、黒いテープ等で巻いてあるので、少し剥がした方が、取り付けしやすいです。

ここの接触不良、配線間違いがあると、正しく表示が出ません。(要注意)

――重要な注意――

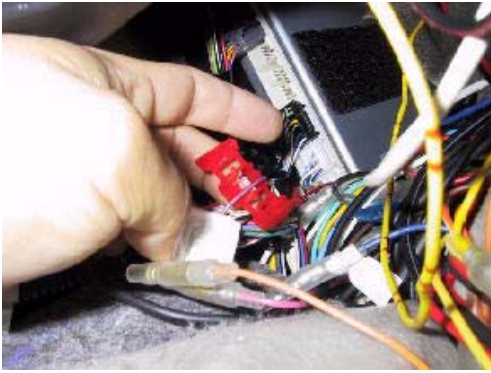
保護テープを剥がす時、カプラで割り込ませる時、十分注意してください。

いい加減な作業で、ECUのハーネスを切断したり、破損したりすると、最悪の状況になります。

この点がきちんと出来ないおそれが有る場合、取り付け自体をあきらめてください。

※このトラブルを含め、問題が発生しても、責任は取れません。

この点だけは、ご了承下さい。



ワンタッチカプラの使用例



ワンタッチカプラの使用法

・ワンタッチカプラは、配線の割り込みに使用します。

1. 溝が左右に切つてある方に、元の配線をかませます
2. プライヤーで、片側をかしめます。
3. 割り込ませる配線をもう一方にかませます。
4. しっかり、かしめて 完了。

※ 黄色の配線が、ECUのハーネス
青の配線が ユニットの配線
に相当します。

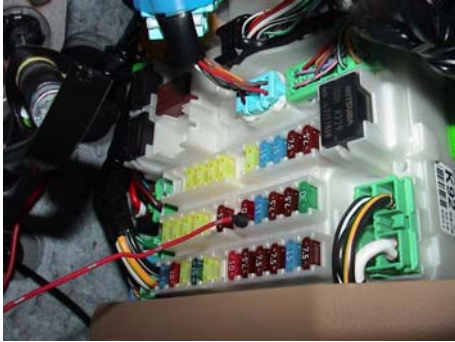
※ 非常に手を入れずらい、狭いところでの作業になりますが
コードを斜めに挟んでしまったり、プライヤーで挟んで
しまったりなど、十分 注意しましょう。

※ ここで、元のハーネスを切断等してしまうと
走行不能になるおそれもあります。
十分、注意してください。



電源は、ヒューズBOXから、取り出しケーブルを使用するのが一番簡単です。

※ヒューズ取り出しKITはホームセンターや用品店で入手できます。
10A用を使用します。
ヒューズ部が大きい物と小さい物が有ります
小さい方ですので間違えないようにして下さい



ヒューズカバーを外し、No.19へ差し込みます。
No.19は、予備用の為、元々開いています。
ユニットからの赤線を接続します。



ハンドルポストカバーを剥がすとアースポイントが有りますので、ユニットからの黒線を取り付けます。

黒線、赤線をカーペット裏に通します。

※線は露出させると、アクセルやブレーキに絡んで大変危険です、必ずカーペット下へ通して下さい。



ユニットを、パネル等に干渉しない位置を見つけて格納します。

この位置か、もしくは さらに下の奥に入れることが出来そうです。



取り付けと逆の順序でパネルを戻していきます。

これで、取り付けは完了！
あとは、動作確認だけです。

「動作チェック」

1. エンジンを始動。
Pレンジの場合、表示は有りません。
2. Dレンジでは 1、2・1のそれぞれで 1, 2 の表示が出るか確認します。
表示されない場合、電源の取り方に問題がないか確認します。
3. Dレンジで走行し、変速に合わせて表示が変われば 接続はOKです。
※表示が変な場合、まず ECUへの接続が正しいか確認してください。
4. 気筒休止状態に入ると、緑のLEDが点灯します

※アクセルワークで、気筒休止状態に早く入れたりすることが出来ます。
工夫してみてください。
5. 数字の右下の . は ロックアップ中の表示です。
※ロックアップとは ATのトルクコンバータを直結することで、巡航時などでの駆動のロスなどを減らす目的が有ります。
燃費の向上や、ドライバビリティ(加速時、減速時のダイレクト感)の向上が計れます
※ロックアップは水温が低い場合は働きません。
6. 変速時 一時的に表示が出ないことがあります。

ちょうどMT車での半クラ状態と思ってください、ギアがつながると表示が出ます。

――― トラブルシューティング ―――

ユニットは、出荷前に動作チェックを行っています。
もし、動作がおかしい場合、まず 正しく接続されているかを、十分確認願います。

「「 動作チェック 」」

1. 全く表示しない

LEDもシフトポジションも表示されない

- ・IGNへの接続は正しいですか
- ・GNDの接続は正しいですか
※特に、GNDの接続不良は原因になりやすいです。

- ・ユニットの赤線に黒いヒューズBOXが付いています
ねじると、1Aのヒューズが入っています。
切れている場合、入れ替えてください。
再度切れてしまう場合、配線の確認をしてください

2. 緑が点灯しない

ECOランプ点灯、巡航状態でも、緑LEDが点灯しない。

- ・水温が低い場合 気筒休止しません、しばらく走って確認します。
- ・茶色線の接続を確認します

3. 変速の表示がおかしい

変速に併せて 正しく表示されていない。

- ・黄、白、緑 線の接続を確認します

4. 変速の表示がおかしい

変速に併せて 全く表示されていない。

- ・黄、白、緑、橙 線の接続を確認します

5. ロックアップの表示が出ない

水温が上がってもロックアップ表示されていない。

- ・青 線の接続を確認します

※ 次の状況は正常です。

- ・走行後、停車時に 2速の表示が出ている(ただし、走り出せば1速になる)
- ・Pレンジ、Rレンジ、Nレンジ で一瞬 2, 3の表示が出る
- ・減速時 4から 3に表示が変わった (プロスマティックの機能でシフトダウンしてます)

「「「 すべて確認しても おかしい場合 」」」

- ・白のカブラを外して、ユニットを送付して頂下さい、確認をいたします。

「「「 万一、走行に支障が出た場合 」」」

カブラを外してください、ユニットは完全に切り離されます。
それでもおかしい場合、ECUへの割り込み配線時のトラブルがあり得ますが、
その場合、問題は深刻です。ディーラー等で ECU周りのチェックが必要です。

このユニットから ECUに対して 出力はしていません。
電圧のモニタをしているだけですので、接続により ECUに負荷が掛かりトラブルを起こすことは有りません。

ただし、厳密に言うと メーカーによる保証外の用品取り付けと言えるので、その点だけはご了承下さい。